



NOW&FUTURE



在宅ワークのリアルを聞いてみました！

今回は、MOZで在宅ワークをされているメンバーの一人にお話を聞きました。在宅勤務ならではの工夫や、感じていること、チームとの関わりについてなど、実際に働いているからこそ見えてくる視点を伺いました。

たまたまオフィスの近くに来ていたタイミングで、チームでランチに行く前に少し時間をもらってインタビューを実施。短い時間ではありましたが、普段の働き方やチームとのつながりについて、率直に話していただきました。

現場を支えてくださる信頼のスタッフBさん（30代）

今回は、現在HALZで勤務いただいているBさんをご紹介します。

Bさんはご応募当初、長野にお住まいでしたが、その後東京へ拠点を移し、現在は他の会社の仕事をやりつつ、リモートでHALZの業務を対応されています。移住後も安定して業務に取り組みつつ、ご自身のスキルを活かして活躍されており、HALZのサポートも心強く感じています。ご自身のスキルを活かしながら柔軟な働き方をされており、HALZのサポートを心強いと感じています。

もともと会計システムのセットアップに携わってこられたBさん。現在もそのご経験を活かし、給与計算システムの設定を担当されています。最近では、給与計算や社会保険手続きなどの実務面でもご協力いただく場面が増えています。着実な対応と専門性の高い知識により、社内でも信頼を集めています。

HALZとのご縁が始まったのは、昨年10月～11月頃。大型クライアントであるJINSの年末調整業務において、長時間勤務が可能な方を探していた際、採用アプリを通じてBさんにご連絡したのがきっかけでした。MOZチームリーダーの針谷さんは、Bさんについて「ものおじせず堂々としていて、気さくで人見知りをしないタイプで、緊張することなく自然体で接してくれるその姿勢は、チームにも安心感をもたらしている」とのこと。



Bさんインタビュー



Q MOZはどんな雰囲気の職場ですか？

A 同じ在宅ワークの方との横の繋がりがあって、わからないことをすぐに聞くことができるので、仕事がしやすいです。みんな私より知識も経験も豊富なので、この場合どうしたらいいか優しく教えてくれるので、とても助かっています。



Q 最近あった大変だったこと、残念だった仕事を教えてください。

A 新しい仕事を任されるときに、みんな在宅だったり、稼働時間が違うので、引継ぎの時間を合わせたり、すぐに質問して答えがもらえないことは、在宅ワークの難しさだと思います。ある程度余裕をもって質問したり、課題を洗い出しておく必要があるなと感じました。



Q プライベート(他の仕事)とMOZの仕事、どうやってバランスをとっていますか？

A 1週間や2週間先のスケジュールを自分の中できちんと整理しておくようにしています。何をいつまでに必ずやらなければいけないのかを把握すると、稼働時間が限られていても前もって終わらせたり、稼働時間の調整をすることができるので、バランスを取りやすいです。みんなの予定に合わせてチームも動いているので、働きやすいです。



最後に

在宅ワークは自由な反面、時間調整や情報共有の難しさもあることがよくわかりました。そんな中、Bさんのように自分のペースと責任感を両立しながら、チームの一員としてしっかり役割を果たされている姿を拝見し、自分も少しでも近づけるように感じました。わからないことを気軽に質問できる関係性や、ちょっとした声かけで安心感を共有できるからこそ、物理的に離れていても自然とつながりを感じられるのだと思いました。また、オフィスの近くに来るきっかけがあれば、気楽に声をかけ合いランチに行けるような距離感や雰囲気があり、仕事の相談もしやすいチームだと感じました。働き方が多様化する今、物理的な距離を越えて信頼関係を築くチームのあり方は、MOZらしさのひとつなのかもしれません。